



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 原田 恭子 (TEL) 06-6531-8211
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,191	36.0	812	164.0	867	103.1	568	278.7
2023年3月期第3四半期	13,380	1.3	307	△44.8	427	△31.6	150	△60.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 981百万円(16.5%) 2023年3月期第3四半期 841百万円(30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	81.48	—
2023年3月期第3四半期	21.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,873	12,453	45.5
2023年3月期	25,171	11,760	45.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,218百万円 2023年3月期 11,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2024年3月期	—	20.50	—		
2024年3月期(予想)				20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	28.5	1,280	100.4	1,250	53.6	930	164.7	133.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,210,000株	2023年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	228,967株	2023年3月期	231,502株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,980,062株	2023年3月期3Q	6,977,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からの経済正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や資源価格の高止まり、高インフレと長期化する金融引き締め等を背景として先行き不透明感が強まっております。

わが国経済も、5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行したことなどに伴い経済活動の正常化が進み、景気は回復基調で推移しましたが、設備投資については、資源価格の高止まりや海外経済の減速懸念等により弱含みの状態が続いております。設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2023年1月～3月は12,492億円（前年同期比6.2%減）、4月～6月は12,626億円（同10.5%減）、7月～9月は12,306億円（同10.8%減）、10月は4,091億円、11月は3,773億円と、減少傾向で推移しております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

当第3四半期における受注高は、国内外の自動車業界向けを中心とした射出成形関連の受注が低迷していることに加え、スマホ・VR用レンズ関連の受注に一服感が見られたことなどにより、前年同期比では33億9千3百万円減（同18.1%減）の153億6千6百万円となりました。これにより、受注残高は前年同期比22億6千4百万円減（同16.8%減）の112億2千5百万円となりました。一方、売上高につきましては、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が増加したこと及び前期に受注した大型案件の売上が計上されたこと等により、前年同期比48億1千1百万円増（同36.0%増）の181億9千1百万円となりました。

損益面では、大型受注案件の増加に伴う製品構成比率の変動等により売上総利益率が悪化（28.7%→24.9%）し、販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同期比5億4百万円増（同164.0%増）の8億1千2百万円となりました。また、経常利益については、為替差益9千4百万円の計上等により、前年同期比4億4千万円増（同103.1%増）の8億6千7百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益1百万円を特別利益に、固定資産除売却損2百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税2億6千6百万円、法人税等調整額3千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億1千8百万円増（同278.7%増）の5億6千8百万円となりました。

日本におきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が堅調に推移したことに加え、前期に受注したフィルム・シート関連等の大型案件の売上が計上されたこと等により、売上高は前年同期比28億1千1百万円増（同31.6%増）の117億円となりました。損益面では、資源価格の高止まりに加え、大型受注案件の増加に伴う製品構成比率の変動等により売上総利益率が悪化（23.9%→21.3%）し、販売費及び一般管理費も増加しましたが、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により営業利益は前年同期比1億8千5百万円増（同48.1%増）の5億7千1百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は為替差益の計上等により、前年同期比1億2千4百万円増（同19.5%増）の7億6千万円となりました。

東アジアにおきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連並びにスマホ・VR用レンズ関連の売上が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比17億6千2百万円増（同44.1%増）の57億6千2百万円となりました。損益面においては、売上総利益率は悪化（30.2%→25.3%）したものの、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同期比2億2千1百万円増（同589.0%増）の2億5千8百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比1億7千8百万円増（同757.3%増）の2億2百万円となりました。

東南アジアにおきましては、地域によりばらつきはあるものの、民間設備投資については自動車関連を中心に緩やかな回復が続いており、売上高は前年同期比7千1百万円増（同5.2%増）の14億6千2百万円となりました。損益面では、売上高の増加に加え売上総利益率が改善（35.6%→37.6%）したことにより売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費の増加を吸収したことから、営業利益は前年同期比5千2百万円増の4千7百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比5千5百万円増の5千3百万円（前年同期は1百万円の経常損失）となりました。

北中米におきましては、中米では自動車関連を中心とした設備投資が緩やかに回復基調にあり、売上高は前年同期比1億2千8百万円増（同110.4%増）の2億4千4百万円となりました。一方、損益面では、売上総利益率が悪化（38.4%→29.9%）したことに加え、販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業損失が9千万円（前年同期は9千9百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が4千6百万円（前年同期は5千8百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金は減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したこと等により10億8千6百万円増加し、201億3千2百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物が増加したこと等により6億1千4百万円増加し、67億4千万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17億1百万円増加し、268億7千3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したこと等により6億1千2百万円増加し、101億1千4百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が増加したこと等により3億9千5百万円増加し、43億5百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億8百万円増加し、144億1千9百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したこと等により6億9千2百万円増加し、124億5千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ウクライナ情勢の長期化及び中東情勢の悪化など地政学的リスクが急速に高まっていることに加え、資源価格・原材料価格の高止まりや中国をはじめとする諸外国の景気減速懸念等、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと、経済活動正常化の動きは進んでおりますが、製造業の設備投資については、資源価格の高止まりや海外経済の減速懸念等により先行き不透明感が強まっております。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等の動きや、ウイズコロナ政策のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの的確に対応していくとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等を中期的に取り組んでおります。また、地球レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

なお、現時点におきましては、2023年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,246,977	6,984,435
受取手形、売掛金及び契約資産	7,322,312	8,458,871
商品及び製品	978,649	819,096
仕掛品	1,302,639	1,504,652
原材料及び貯蔵品	1,669,919	1,943,631
その他	594,733	474,286
貸倒引当金	△69,267	△52,463
流動資産合計	19,045,964	20,132,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,050,533	2,595,171
土地	1,599,140	1,615,990
その他（純額）	1,207,858	1,153,109
有形固定資産合計	4,857,532	5,364,271
無形固定資産		
その他	573,136	592,672
無形固定資産合計	573,136	592,672
投資その他の資産		
その他	698,866	787,517
貸倒引当金	△3,943	△3,943
投資その他の資産合計	694,923	783,574
固定資産合計	6,125,592	6,740,518
資産合計	25,171,557	26,873,028
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,313,791	3,534,280
短期借入金	3,129,142	4,102,130
未払法人税等	215,936	165,279
製品保証引当金	108,420	111,026
役員賞与引当金	46,451	-
その他	2,687,617	2,201,559
流動負債合計	9,501,359	10,114,276
固定負債		
長期借入金	2,697,000	3,019,310
役員株式給付引当金	20,240	18,070
退職給付に係る負債	997,005	1,039,391
その他	195,878	228,930
固定負債合計	3,910,124	4,305,702
負債合計	13,411,483	14,419,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,812,922	9,091,314
自己株式	△131,654	△129,500
株主資本合計	10,727,800	11,008,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,226	180,322
為替換算調整勘定	684,454	1,029,677
その他の包括利益累計額合計	811,681	1,209,999
非支配株主持分	220,591	234,702
純資産合計	11,760,073	12,453,050
負債純資産合計	25,171,557	26,873,028

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	13,380,330	18,191,684
売上原価	9,538,568	13,658,194
売上総利益	3,841,761	4,533,490
販売費及び一般管理費	3,533,949	3,720,947
営業利益	307,812	812,543
営業外収益		
受取利息	7,935	11,692
受取配当金	10,280	11,753
為替差益	114,249	94,001
その他	28,947	17,753
営業外収益合計	161,413	135,201
営業外費用		
支払利息	28,661	38,742
資金調達費用	6,656	22,833
その他	6,593	18,418
営業外費用合計	41,912	79,993
経常利益	427,314	867,751
特別利益		
固定資産売却益	2,090	1,757
投資有価証券売却益	14,399	-
特別利益合計	16,489	1,757
特別損失		
固定資産除売却損	993	2,220
投資有価証券売却損	241	-
投資有価証券評価損	11,309	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	108,508	-
特別損失合計	121,052	2,220
税金等調整前四半期純利益	322,751	867,288
法人税、住民税及び事業税	150,842	266,093
法人税等調整額	29,490	35,393
法人税等合計	180,332	301,487
四半期純利益	142,418	565,801
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,171	568,743
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,753	△2,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,125	53,095
為替換算調整勘定	697,447	362,275
その他の包括利益合計	699,573	415,371
四半期包括利益	841,991	981,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	826,575	967,061
非支配株主に係る四半期包括利益	15,416	14,111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	8,239,147	3,660,371	1,377,932	102,879	13,380,330	—	13,380,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	650,342	339,432	12,815	13,235	1,015,825	△1,015,825	—
計	8,889,489	3,999,803	1,390,747	116,115	14,396,156	△1,015,825	13,380,330
セグメント利益又は 損失(△)	636,807	23,631	△1,587	△58,836	600,014	△172,699	427,314

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	600,014
セグメント間取引消去	△172,699
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	427,314

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	11,140,584	5,365,146	1,454,621	231,332	18,191,684	—	18,191,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	559,978	397,489	7,752	12,965	978,186	△978,186	—
計	11,700,562	5,762,636	1,462,373	244,298	19,169,871	△978,186	18,191,684
セグメント利益又は 損失(△)	760,876	202,594	53,890	△46,422	970,939	△103,187	867,751

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	970,939
セグメント間取引消去	△103,187
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	867,751

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	10,784,447	33.0
東アジア	4,429,946	24.8
東南アジア	338,148	△18.0
合計	15,552,542	28.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	9,781,234	△17.8	8,355,880	△7.3
東アジア	4,220,828	△22.5	2,455,032	△36.0
東南アジア	1,217,649	△1.1	352,314	△29.3
北中米	146,421	△22.8	62,595	△55.6
合計	15,366,134	△18.1	11,225,822	△16.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	11,140,584	35.2
東アジア	5,365,146	46.6
東南アジア	1,454,621	5.6
北中米	231,332	124.9
合計	18,191,684	36.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。